

第6章 由良川の川づくりの進め方

これからの由良川の川づくりを進めるにあたっては、人々が川に対して期待している思いを住民と行政が一緒になって実践していくためには、由良川沿川の住民の理解と参加を得ることが必要不可欠です。

また川づくりには、由良川の歴史・文化、社会背景、自然条件を踏まえた由良川らしさを発見しながら考えていく必要があります、川でつながれた由良川流域を一つのくくりとして、さまざまな立場の人々の川に対する想いを語り合い、考えていくことも大切です。

そこで、住民団体などとの連携交流、更には流域住民、学識経験者、企業、関係自治体及び河川管理者を含めて、今後の由良川における人と川との関わり方や今後の川づくりのあり方についての意見交換・討論ができる流域委員会に続く場として「由良川流域懇談会(仮称)」などを設置し、流域内で調査・研究し意見交換を行い、今後の河川整備計画の内容に反映させます。

また、このような意見交換を通じてコミュニケーションを充実させることによって、技術面や予算面で可能なものから順に、人々が川に期待している想いを具体化する由良川の川づくりを推進していきます。

なお、今回策定する河川整備計画は、計画策定時点が最終形ではなく、今後とも、流域住民等とのコミュニケーションを十分に図りながら、事業を実施し、必要があれば整備計画の変更にも柔軟に対応していきます。